

調布市防災教育の日

令和7年4月26日

1校時 防災映像《地震編》東京消防庁 リモート学習室 視聴

地震その時

10のポイント

30年以内に**70%の確率**で
発生すると予測されている首都直下地震
あなたは**その準備ができていますか？**

自分は大丈夫といった油断は禁物！
一緒に学習して
防災行動力を
身につけましょう



- 1 地震だ！まず身の安全
- 2 落ちついて火の元確認 初期消火
- 3 あわてた行動けがのもと
- 4 窓や戸を開け出口を確保
- 5 門や塀には近寄らない
- 6 確かめ合おう わが家の安全 隣の安否
- 7 協力し合って消火・救出・応急救護
- 8 正しい情報確かな行動
- 9 避難の前に安全確認電気・ガス
- 10 火災や津波確かな避難



ハザードマップを使って学習

2校時 道徳 いのちの授業

生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する



1年生 東日本大震災発生時、地元の写真スタジオで撮影アシスタント兼デザイナーとして働いていた**あいしまさん**。

震災直後から遺影写真の依頼を受け、笑顔になれない子ども達とも出会い、その出会いは今でも忘れることができない。震災を経験した子どもたちは何歳になったのか、笑って過ごせているのか、今でも考えると言う。「ずっとしまっていた」体験を、10年の節目に**漫画で描いた**あいしまさん。その記憶や感情を漫画で伝えるることにより、多くの命が犠牲になった震災を今後も考えて欲しいという思いが込められている。

2年生 東日本大震災の時に、大切な家族と思い出の詰まった家を流されてしまった大槌町在住中学2年生**黒沢菜緒佳**さんの書いた**作文「バイバイ」**を読んだ。あたり前にある今の幸せや、命は決して失われてはならないものであること、そして人は一人で生きられない、周りの人たちへ感謝の気持ちや支え合うことが大切ということを知る機会となった。



先月の八中の卒業式で3年生が流した涙には、充実した3年間の思いや多くの人への感謝の気持ちが込められていました。

梶原くんの涙には・・・+悔しい思いが・・・

その思いを胸に梶原くんは、中学校卒業後、岩手県の国立一関高等専門学校に進学し、5年間土木工学を学び、現在は地元に戻って地盤改良の仕事に取り組んでいるそうです。「地面を丈夫にしてるんだぜ!!って同級生に胸を張って言えるかな～」と数年前のテレビで**笑顔**で答えていたそうです。

命の大切さ
助け合うことが大事

現実を受け止め
辛さや悔しさを
乗り越え、**前に**
進もうとしている

何気ない
あたり前の
日常が大切
感謝♪



